

関西福島県人会だより

発行：関西福島県人会広報委員会

INDEX

新会長ご挨拶	1
第65回総会懇親会・能登半島大地震義援金御礼	2
女子駅伝報告・お酒情報・サテライトショップから	3
芋煮会・春のセンバツ甲子園	4
関西福島県人会イベント情報・入会案内	4



ご挨拶

関西福島県人会会長 本林 博子
(相馬市出身)



提供：福島民友新聞社

2月18日、第65回関西福島県人会総会にて14代会長に就任いたしました本林です。前田崎会長をはじめ歴代の会長さんも含め、会員の皆様の郷土福島に対する熱い思い・歴史と伝統を誇る、この会の重責を担うことになり、責任の大きさに身のひきしまる思いです。女性の会長は1959(S34)年以降初。もともと鈍感なので、「初」と言われても全く意識はしていません。もう、多くの女性会員さんの土台があつてのこと。全ての皆様に心より感謝申し上げます。

まず内堀福島県知事のお言葉をかり、福島復興に向けた動きは加速しています。県産品の輸出額も最高額を記録したと。た

だ、廃炉や汚染水・処理水・風評被害等はまだまだ問題を抱えています。

私たち県人会としても、新生福島・新会長として、出来ること。そう「会議のための会議をしない」「会議に出るのが楽しみ」と思えるよう、一緒にワイワイと楽しみましょう。

3月12日、大阪市内のホテルNCBに現地入りした学法石川ナインの激励会が行なわれました。佐々木順一郎監督の挨拶、選手一人一人のエネルギーあふれる自己紹介。最後に平野副会長の小宅主将に花束贈呈での「指切りげんまん」は最高でした。このように県会の活動はスポーツ大会の応援だけでなく、福島県物産販売・たくさんのイベント・PRがあります。そして多くの方にも参加していただけるような新たな企画にもチャレンジしたいと考えております。

最後にいつもの言葉。「人と人との出会い、ふれあいが絆となり、そしてそれが人生のへそくりとなる」これからはたくさんのへそくりを作っていきます。会員の皆様方のご健勝・ご多幸をお祈りして、あいさつとさせていただきます。

第65回 関西福島県人会総会・懇親会

副会長 石川 玲緒奈

令和6年2月18日、第65回関西福島県人会総会・懇親会が開催されました。

総会では黙祷の後、前会長田崎さんのあいさつ。続いて令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算、会則改正と役員人事の承認を頂きました。

新しい常任理事には栗田史江さん・土井桂子さん・舟木正巳さん・堀江重信さん・山田昭一さん・吉田有子さん・渡邊美紀代さん・渡邊祐樹さんが就任されました。

新会長挨拶ではみんなで仲良く楽しく福島県人会を作っていきたいという本林会長お言葉が心に残りました。



記念撮影の後、懇親会の開催。鈴木正晃福島県副知事・塩見奈保美東海福島県人会副会長に来賓のご祝辞を頂きました。



元気いっぱい長谷川ハルイさんの乾杯の後、今年こそはついたて無し、カラオケあり、もちろん福島のお酒ありの宴。渡邊登新副会長による南京玉すだれは会を増すごとにより素晴らしく、皿回しも見ものでした。

そして本当に待ちに待ったカラオケ。皆さんそれぞれ、思い思いの曲を歌っていました。私は一番ステージに近い席だったので、歌謡ショーのように楽しく聞かせていただきました。そして最後は恒例の「さようなら」と「ふるさと（ふくしま）」をみんなで熱唱。福島のお酒をたくさん飲んで、福島特産のお土産も沢山いただき、美味しく楽しい懇親会。来年も楽しみです！！

最後になりますが、前会長の田崎公司さん、今まで全力で福島県人会を盛り立てて下さり、本当にありがとうございました。

能登半島地震義援金贈呈

副会長 佐藤 賢夫

令和6年3月8日、関西福島県人会本林会長・福島県大阪事務所藤田所長・副会長佐藤の3名で石川県大阪事務所へ義援金を手渡しにまいりました。

東日本大震災被災県として、かつて石川県よりの忘れられない温かい応援をいただき、万感の思いを込めて訪問して参りました。一日も早い復興を願うのみです。福島

県人会総会などで多くの皆様にご寄付いただき、ありがとうございました。



2024年1月14日 皇后盃 第42回全国女子駅伝

常任理事 吉田 茂

今年は元旦に能登半島地震があつて少しだけ落ち込んだ気持ちで、京都・西京極競技場まで出かけてきたのですが、競技場周りでは全国ふるさと祭りが開催されて、福島県人会でもふるさと屋台村として牛串等の販売をしました。大変人気があり、お昼前には完売してしまいました。競技場外では、能登半島地震の募金活動を陸連の高岡さん・有森さんがやっていたので、早く元に戻るようにと少しだけ募金をしました。

私達県人会ではスタンドで大型モニターを見ながら福島のタスキが渡るたびにモニターに向かって声を張り上げながら応援し

ました。2時間全員がよくタスキをつないでくれてよくやったと思います。とくに高校生ながら社会人大学生を相手に1区を元気に走ってなかなかの健闘、4区では区間賞とキラリと福島県の心を見せたのではないかと思います。まだ入賞に届きませんでした。将来に明るい走りを感じた駅伝応援観戦でした。夜には、県人会主催の選手たちへの慰労会開催です。選手含めて30名位の参加者で、今日走った疲労が少しでも軽くなるようにと選手たちの屈託のない笑顔に私達が癒されてきました。来年はもっと・・・

酒通・栗田さんおすすめ 福島の酒

新常任理事 栗田 史江

「甦る」

浪江町

鈴木酒造店

(代表銘柄 磐城壽)



震災で蔵が流され、山形県長井市で酒造りを再開。10年後の2021年、道の駅なみえにて浪江蔵を復活。毎年3月11日に発売される、山形と福島を繋げる温かい想いの詰まったお酒。

柔らかで優しい口当たりの中にしっとりとふくよかな米の旨み。食事と共にゆっくり楽しみたい一本。毎年3.11に発売され、お酒の売上の一部はNPO法人”葉っぱ塾”による福島の子供たちの活動費に寄付されます。

今年はそれに加え、能登半島地震で甚大な被害を受けた珠洲市と輪島市の両自治体に寄付されることになり早めに発売。早速いただきました。美味しすぎて盃が止まりませんでした。定番の「磐城壽」も間違いのない旨さなので、ぜひに！

サテライトショップからのお知らせ

〇冬(12月~2月)の人気商品のご紹介!

ショップやイベントで人気の商品(売上金額上位)をご紹介します。

日本酒

第1位:奥の松 飲み比べセット(奥の松酒造)

第2位:磐城壽 大漁旗 紺碧 吟醸(鈴木酒造)

第3位:純米吟醸 ゆり(鶴乃江酒造)

食品

第1位:なみえ焼そば2食入り(旭屋)

第2位:喜多方ラーメン生2食入り(河京)

第3位:ままだおる5個入(三万石)

〇サテライトショップ新規取扱商品のご紹介!!

★とまと味噌(ワンダーファーム)

★二年もろみ醤油(根田醤油)

★和マッコリ 霧の華(有賀醸造)

★ショコラにがり酒(ほまれ酒造)



2023年11月11日 芋煮会に参加して

新常任理事 渡邊 裕樹

芋煮会は、京都での学生時代を経て福島に帰郷し県職員として各地で勤務する中で、毎年のように職場の仲間や家族と河原等で鍋を囲みましたので思い出深いものがあります。

そのルーツは諸説ありますが、会津藩士の子孫で郷土料理を研究している居酒屋のご主人が、「かつて会津藩士が家族を連れて今では白虎隊の墓のある飯盛山に紅葉狩りに出かけ、持参した鍋を囲んだことが始まりだ」と力説していたことを思い出します。

参加者みんなが芋の皮むきから火おこしなどを手分けして行い、楽しく酒を酌み交わしとてもにぎやかな芋煮会でした。

春のセンバツ甲子園

第96回選抜高校野球大会には学校法人石川高等学校が33年ぶり4回目の出場し一回戦で健大高崎（群馬）と対戦。関西福島県人会のみんなで応援しましたが、残念ながら0-4で敗退。伝統のスカイブルーのユニホームに身を包んだ選手たちは9回に満塁の好機を作り、最後の最後まで諦めませんでした。県人会では高校野球等福島の選手を応援しています。

ありがとうございました！！

年度末で菅野主幹と伊藤主査が異動となり、福島県へ帰られます。コロナ禍真ただ中でイレギュラーなことも多く、大変だったかと思いますが、大変お世話になり本当にありがとうございました！！いつでも遊びに来てください。

関西福島県人会イベント情報

	イベント名	場所	開催情報
1	東大阪市民ふれあい祭り	東大阪市	5月予定
2	鴨川納涼	京都市	8月予定
3	全国高等学校野球選手権大会 大会激励会・応援	西宮市	8月予定

※イベントの中止等により計画が変更となる場合がございます。

入会案内

関西福島県人会 会員 募集中！

- 入会資格
福島県出身の方・縁故のある方
福島県に“想い”のある方

- 年会費
3,000円

- 主な活動内容
 - ・大阪・京都を中心に実施する各種イベントでの県産品販売等による福島の魅力発信
 - ・各種スポーツ全国大会における県選手団への激励
 - ・会員とその家族の親睦を図る家族会
 - ・新入会員の懇談会、年に1回の芋煮会
 - ・県人会だよりの発行（年に2回目安）

○ご連絡先
関西福島県人会事務局(福島県大阪事務所内)
TEL：06-6343-1721
FAX：06-6343-1727
E-mail：

kansai_kenjinkai@pref.fukushima.lg.jp
※現在、ホームページの申込フォームに不具合が生じており、お申し込み内容を確認できません。
お手数ではございますが事務局まで電話、FAX、メールのいずれかの方法で、ご連絡願います。申込用紙を送付させていただきます。
なお、事務所内にも申込用紙をご用意しておりますので、お気軽にお声かけください。

「関西福島県人会だより」について

「関西福島県人会だより」は、会員の皆様の間での情報共有を図る目的で、令和2年9月から新たに発行しているものです。年2回（3月、10月）を目安に発行し皆様へ情報をお届けします。

これまでは会長が県人会だよりをまとめて下さっていましたが、今回から広報委員で編集する事となりました！慣れない作業に手作り感溢れる情報誌ですが、引き続き宜しくお願いします！（伊）